

九州地方の火山活動解説資料 (平成 18 年 3 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- : 噴火した火山
- : 活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山
- : 解説を掲載した火山
- : その他の火山

この資料は、気象庁のデータの他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)

九重山[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(火山活動度レベル1) やや活発な状態(火山活動度レベル2)]

24 日の現地観測で、中岳第一火口内の湯だまりの表面温度は、これまでの 60 前後から 70 以上と高くなりました。また、土砂噴出を観測するなど、火山活動はやや活発となりました。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山

[御鉢 : やや活発な状況(火山活動度レベル2)]

火口縁を越える噴気が観測され、また火山性微動が時折観測されるなど、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

[新燃岳 : やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
火山性地震がやや多いなど、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

若尊(わかみこ)

28 日に鹿児島湾奥の若尊付近で地震がやや多発しましたが、変色水域等の異常はなく、火山活動に変化はありませんでした。

桜島[比較的静穏な噴火活動(火山活動度レベル2)]
ごく小規模な噴火が時折発生しましたが、桜島の噴火活動としては比較的静穏な状況でした。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
噴煙活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
火山性地震はやや多い状態が続き、振幅のやや大きな火山性微動が発生するなど、火山活動はやや活発でした。

諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル3)]
3 ~ 7 日に小規模な爆発的噴火が 243 回発生するなど、火山活動は活発でした。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、5 月 9 日(火)の予定です。

火山情報発表状況(平成 18 年 3 月)

火山名	情報名	発表日時	概要
諏訪之瀬島	火山観測情報第 5 号	3 日 10 時 30 分	活発な状況(火山活動度レベルは 3) 爆発的噴火が多発し、火山活動は活発。
	火山観測情報第 6 号	10 日 11 時 10 分	活発な状況(火山活動度レベルは 3) 爆発的噴火が少なくなった状況。
口永良部島	火山観測情報第 1 号	22 日 16 時 10 分	やや活発な状況(火山活動度レベルは 2) 振幅のやや大きな火山性微動の発生。
阿蘇山	火山観測情報第 4 号	24 日 15 時 00 分	静穏な状況(火山活動度レベル 1) から やや活発な状況(火山活動度レベルは 2) 湯だまりの表面温度が高くなり、土砂噴出も観測。